

卓 話 ●久保会員

「ひと妻のよろめき、かなわぬ恋のものがたり」

卓話の流れ



- ① Prologue
- ② E クラブの事
- ③ リモートによる例会出席は良識に任すしか道はない
- ④ 標準クラブ定款第 7 条の違反
- ⑤ 1995 年失樂園、2004 年愛の流刑地
- ⑥ John Milton の失樂園
- ⑦ 宗教上の欲望の禁止とマズローの欲望 6 段階説
- ⑧ 渡辺純一郎さんの失樂園
- ⑨ 芥川賞受賞作家高橋のぶ子さんの書評を読む
- ⑩ 刑事法の用語の説明
- ⑪ 刑事法の話
- ⑫ ワインの話
- ⑬ Epilogue

上半期委員長報告

●クラブ奉仕委員会 富田委員長

当委員会は、設立以来のモットーである「親睦こそ我がクラブ」の理念と、当年度会長の“Be Rotarian”のテーマの下、会員相互の親睦を深めることを目的として上半期の事業展開に努めました。また、各委員会との連携と DEI の推進により、クラブの活性化を図り、「奉仕の理想」に沿った有意義なクラブ管理運営を目指して参りました。

そして、未だにロータリー活動に COVID-19 の影響があるものの、上半期は休会することもなく、久々に完全な家族例会を開催された親睦委員会を始め、例会担当委員会、会員増強委員会、広報委員会、情報委員会の各委員会は夫々の報告通り活発な活動をして頂きました。

上半期では、広報委員会と会員増強委員会が委員会の垣根を超えて、「会員候補者アプローチ用パンフレット」を協力して考案する試みがありました。会員が減少する中で、今後、この様に各委員会が連携してワン・チームとなる活動が益々必要となると考えると共に、これが新たな活性化に繋がるのではと期待します。また、広報委員会により週報の様式が変更されていますが、この様に質を維持しながらコストを意識した試みは、因習に捉われず果敢に推奨されるべきと考えます。

また、2022 年 4 月の規定審議会の決定に即して、クラブ諸規定の見直しを会長・幹事と図りましたが、今期は特段の変更の必要なしと結論しました。

下半期、当委員会はクラブの現状を熟慮し、また危機管理にも配慮しながら、クラブのビジョンと中長期計画の策定に取り組む所存です。会員の皆様に於かれましては、引き続いてのご協力の程お願い申し上げます。

●例会担当委員会 富田委員長

本年度も例会運営に COVID-19 の影響が懸念される状況下で、当委員会は、会員各々の資質向上と会員相互の親睦を深めることを目的として、会長、幹事、SAA 及び事務局と緊密に連携を取り

ながら、ロータリー精神に溢れた有意義な例会となるように、以下の通り努めて参りました。

まず、例会開催に当たっては、COVID-19 に対する予防策を講じながら、慎重に会食の復活やレイアウト及び配席の工夫に努めました。前年度に続き、リモートを活用した新たな例会スタイルを模索しながら、基本方針に沿った例会の管理運営を行いました。

また、例会プログラムや卓話予定の変更には柔軟に対応し、その管理運営に努めました。

新しい試みとしては、昼間の例会出席が難しい会員（将来的な会員を含む）のために夜間開催の可能性を検討するべく、夜間例会の試行を計画し、これまで2回実施しました。これについては、追って理事会にて検証する予定です。

毎例会の活動としては、松本・谷口両会員に交替で司会をお願いし、また、木村・福井（親睦委員会）両会員に受付をお願いしていますが、この紙面にて改めて感謝申し上げる次第です。

下半期は2月16日に講師による例会担当委員会アワー、及び4月6日（夜間）に創立記念例会の開催を計画しています。会長・幹事を始め会員の皆様には、これまで有意義な例会の開催できましたことに厚く御礼申し上げますと共に、引き続きのご協力の程宜しくお願い申し上げます。

●会員増強委員会 池田副委員長

ロータリーにおける会員増強は、かけがえのない友との出会いのための、そして様々な年間プログラムを精力的に実行していくための、最も重要なクラブ奉仕であるという基本方針のもと、以下の通り活動しました。

- ① 9月1日、新会員（段 克史会員）の入会
- ② 9月1日、本地区・会員維持増強委員会副委員長 橋本雅彦様を講師にお迎えし、「会員維持増強に関する現状と課題・事例」と題して会員増強委員会アワーを開催

●親睦委員会 喜多村委員長

当委員会は「親睦こそ我がクラブ」の理念を継承し、月初めの例会において会員及び配偶者の誕生日、会員の結婚月などに記念品を贈り祝福し、慶事には記念品を進呈しました。

会員相互の親睦を図る行事として、9月8日にフォレストステーション波賀にて、段会員の歓迎会を兼ねて親月例会を開催し、会員の余興もあって、終始ご参加の皆様に楽しんでいただきました。また、12月17日にはホテルモントレ姫路でクリスマス家族会を催しました。サンタからお子様へのプレゼント、音楽家や会員による演奏、お楽しみ抽選会など多彩なアトラクションがあり、会員のみならず家族の皆様とも親睦を深めることができたのではないかと考えています。

下半期も家族旅行等、会員相互の親睦がより深まるような行事を精一杯努めて参りますので、上半期同様に、皆様のご参加、ご協力をお願いします。

●広報委員会 片岡（孝）委員長

当委員会は、ロータリークラブの活動内容を広くご理解いただくこと、及び新会員を一人でも多く呼び入れることを念頭に置いた広報を目指し、次の活動を行いました。

- ① 皆様からお寄せいただいたご意見を反映し、新会員の勧誘に使える、「龍野ロータリークラブ広報誌」を作成しました。
- ② 「ロータリーの友」への投稿について
以下の記事の投稿を済ませております。

- ・ 龍野城下町における古民家の再活用から街の課題を考える
- ・ ロータリーが長年取り組むポリオ根絶活動を、市民の方々にお伝えするための当クラブの取り組み

●情報委員会 藤井副委員長

当委員会は9月29日の例会にて情報委員会アワーを担当し、ポール・ハリス語録を引用した卓話を通じて、ロータリーの原点を探る機会としました。

●職業奉仕委員会 一色委員長

当委員会では10月27日、普段と異なる日中の移動例会を実施しました。龍野の川西地区は令和元年12月に重要伝統的建造物群保存地区に指定され、コロナ禍突入後も古民家改修による店舗等の出店が相次ぎました。その現状を会員の皆様にもご覧いただきたく企画したものです。その中で古民家ホテル kurasu を経営する若き女性経営者、アーデン歩様から、地域活性化の事業観、経営理念などのご講話を頂きました。

下半期は、先般1月27日に職業奉仕委員会アワーを担当し、龍野の裁判所で活躍されている女性裁判官をお迎えしてご講話を頂きました。

●社会奉仕委員会 伊藤委員長

当委員会の活動計画は、①「しろう自立の家」完成記念サロンコンサートの開催（地区補助金の活用）、②たつの市民まつりへの参加（公共イメージの向上）の2件です。それぞれについてご報告いたします。

- ① 様々な障害を持つ人が生活する障害者支援施設「しろう自立の家」に於いて、本條会長の支援を得てサロンコンサートを開催しました。地域への発信を通じて DEI 理念の普及並びに共生社会への関心喚起を図ることを目的に、チラシ配布等を計画しておりましたが、コロナ感染拡大を受けて行政の担当者と地元自治会だけへの案内としました。入居者と関係者だけとなりましたが、コンサートを楽しんでいただくことが出来ました。今後は、当施設のニーズを把握し必要な支援を継続していけるよう、地区補助金の活用を含め次年度に引継ぎしていく予定です。
- ② 市民まつりでは、多くの会員の協力を得てブース出展をしました。ポリオ根絶キャンペーンへの協力を呼びかけ、ガラポン抽選で一般の来場者をブースに呼び込み、ロータリーの活動の周知と多額の寄付を頂戴することが出来ました。ただ、日本においてはポリオ撲滅から40年余りが経過しており、ポリオを知らない人が極めて多いことが分かりました。今後はポリオ自体の周知を含めて活動する必要があると考えています。

●国際奉仕委員会 高田副委員長

当委員会は、ロータリーの目的である国際理解、親善、平和の推進を地域内で浸透させるため、次の通り活動しました。

- ① 12月11日に実施された、「たつの市国際交流フェスティバル」に参加しました。会員からの協賛品を寄付したほか、当日挨拶を通じてロータリーのイメージアップを図り、ご参加の外国人と交流しました。
- ② 来る2月の国際奉仕委員会アワーでは、世界平和は相手を好きになることで実現する、との考え

を基に、来日した外国人に日本の魅力を語ってもらい、会員に世界中に日本ファンを広げること
を考えるヒントを得る機会にしたいと考えています。

●財団委員会 永富委員長

① 米山担当委員会アワー（10月6日）

米山月間に当たり、米山奨学生の王宵様をお招きして、「米山奨学生となった私と日本留学の成
果」と題して、卓話を頂きました。日本留学の経緯と研究内容や、奨学金のおかげでアルバイト
を減らして研究に集中できた経験などの話を聞き、米山奨学制度の意義を改めて認識するこ
とが出来ました。

② 財団委員会アワー（11月10日）

ロータリー財団月間に当たり、当地区・ロータリー財団委員会副委員長 城 守様をお招きして、
「世界でよいことをしよう～ロータリー財団～」と題して、ロータリー財団への寄付の使われ方
並びに新たに重点分野に加えられた「環境」について話をして戴き、ロータリー財団について一
層の理解を深めました。

③ 募金活動

米山奨学金並びにロータリー財団への寄付を募りましたところ、皆様のご理解により、下記の通
り集まりました。

ご協力ありがとうございました。

- ・米山奨学金特別寄付 160,000 円
- ・ロータリー財団年次基金 1,250.00 ドル
- ・ロータリー財団ポリオ基金 1,288.96 ドル